

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2016年
1月5日(火)
第135号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

「保育を楽しむための連続講座」 第3回は過去最多の100名参加！ 河崎道夫高田短期大教授～ごっこ遊びー自由と自然ー～

12月13日(日)全理連ビルにて「保育を楽しむ講座第3回」が開催されました。今回は高田短期大学の河崎道夫先生を講師に迎え、「自然の中での豊かなごっこ遊び」をテーマに講義をしていただきました。

物で溢れ、自然が減りつつある現代社会。その中でどのようにして自然を多く取り入れた保育をしていけるのか・・・？河崎先生は身近にある小さな自然に、子どもが楽しめるあそびが豊かにつながっていることを教えてくださいました。公園や散歩中の道路、園庭の隅にだって自然はたくさんあり、保育士がその自然を見落とさず、子どもと発見すること、その自然を子どもの思うままにごっこ遊びに取り入れていくことを楽しんでいくことが大切であるとのことでした。そして、ごっこ遊びはすべてこどもの『憧れ』から始まり、その憧れを保育士も一緒に表現することを全力で楽しむことが大事で

あるとお話いただきました。講義の中では実際にかたばみや、むくろじの種を使いながら、様々な遊びかたをわかりやすく説明してくださいました。

その後、少人数に分かれてグループ交流を行いました。様々な区・市の保育士が集まり、講座の感想を話し合ったり、各園でどのような戸外での遊びをしているのか話し合ったり、意見交換をし合う中で学びの多い時間となりました。

次回の講座は1月12日(火)19:00～21:00ラパスホールにて講師に野井真吾さんを迎え「子どもの体の“おかしさ”を科する：元気のための3つの提案」をテーマにお話ししていただきます。多くのご参加、お待ちしております！

【アンケートに書いていただいた感想をいくつか紹介します。】

男性：20代 保育士1年目 植物や天気・動物・虫など、自分自身が興味を持って調べて「面白い！」と思ったものをどんどん子どもに提供できるようになりたいと思います。

女性：20代 保育士2年目 散歩先や園庭で見つけた子どもの小さな気づき、面白さ、楽しさを私も楽しんだり大切にしていきたいと思います。保育者自身が楽しむことが不可欠なのだと感じました。

女性：20代 保育士3年目 自然物を使った遊び・ごっこ遊びなど知らないことがたくさん知れて良かった。都内の園でも意外と周りに自然があるので、試してみたいことがたくさんあった。

女性：20代 保育士4年目 大人が聞いてもワクワクするあそびをたくさん知ることができました。子どもたちの憧れを見逃さないでいきたいなと感じました。

女性：20代 保育士6年目 保育士の視点の広さ・知識の広さで子どもに伝えられる、子ど



もと楽しめる遊びも変わってくると思うので、いろいろなところに目を向けて日々勉強していきたいと思いました。

女性：20代 保育士6年目 河崎先生のお話を聞いて、遊びってもっと自由に楽しまなきゃ、自分も子どもももったいないじゃないか！と思えました。ありがとうございました。

女性：30代 保育士年目 グループ交流によって、他の園の状況や他の先生の考え方を知っ1り意見交換で来て有意義な時間になりました。

女性：30代 18年目 自然物を取り入れた遊びは出会って初めて知るものも多かったでするので、今回の「かたばみ」を使った遊びもぜひ取り入れてみたいと思いました。

女性：50代 34年目 素材への知識を私達自身が持つことで遊びが広がっていくので、何歳になっても学びは大切だと思いました。

女性：50代 34年目 久しぶりに河崎先生のお話を聞くことができ、ワクワク、保育の楽しさを再認識することができました！！

保育の拡充を求める緊急ハガキのひと言から

安倍首相、麻生財務相、磯崎厚労相へのハガキ要請からひと言を紹介しします。

- 子どもを授かったとき、喜びの反面、不安でいっぱいになり、産むことをあきらめようと思いました。上の子どもの保育園探しでノイローゼになりました。安心して子どもが産め、仕事をしながらも子育てをできる環境にしてください。
- 保育園のことを考えて子どもを何月に産まないといけないうし、保育園に入るために1年の育休を切りあげたりしている。もっと自由に子どもが産めて、安心して保育園に預けられる社会をつくってほしい。
- 子どもにかかる予算をもっと増やしてほしいです。日本の基準は低すぎると思います。また専門性を必須とする保育士の処遇をもっとよくして行ってほしいです。
- 責任が重く専門性が問われる保育の仕事の質を高めるためにも処遇改善をお願いします。
- この国の未来を担うこどもたちにお金をかけずに一体どうするのでしょうか。このままでは保育士のなり手もいなく少子化も歯止めがきかなくなります。保育制度の見直し、保育士の処遇改善を強く要求します。
- 子どもが安全に安心して過ごせる環境はどういうことなのかを考えて基準をつくってください。
- 子どもは将来の日本を担っていく宝です。予算を増やして手厚く育てていかないと将来の日本にとっても損失です。
- 保育園を増設して下さい。増設にともない保育の質がおちているように思います。質も高めるようにお願いします。
- 福祉を充実していくといいながらも、新制度になったことで、保育、子育てにおいて厳しい状況となっています。保護者への支援、保育士の処遇の改善を求めます。
- 未就学児を保育するため専門的に学んだ。幼稚園や小学校教員は教育がメイン。生活や保育についてまできちんと出来ると思わない。保育士を増やすため、現在の保育を続けられるために保育士の処遇を改善してほしい。
- いま障害児保育は3人に対して1人の加配です。でも障害児が1つのクラスにまとまっているはずもなく障害も様々です。ぜひ1対1の加配をつけてください。
- 栄養士は、アレルギー児の対応など重い責任の業務に携わっているのに、非常勤であることに疑問を感じます。

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】